

あいば野演習場における弾着不明事案の概要、今後の捜索について

趣旨

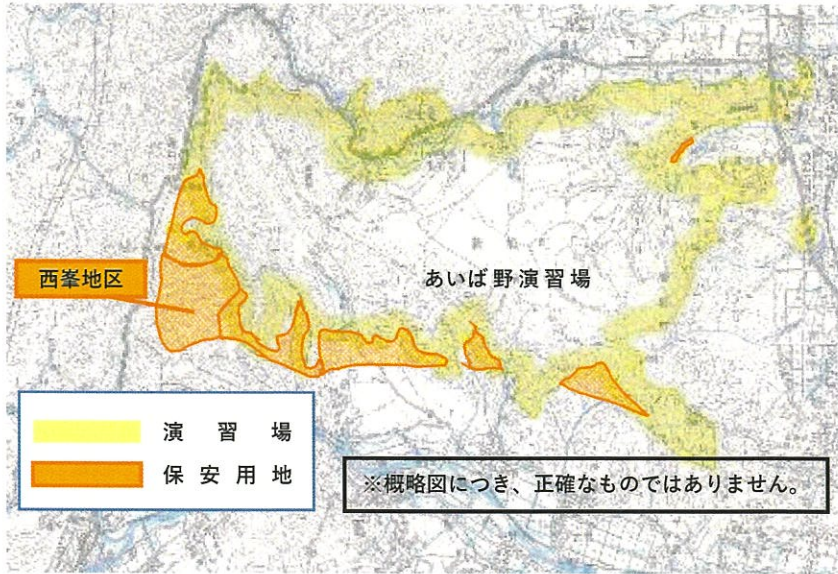
令和7年2月3日（月）午後2時40分頃、あいば野演習場で発生した155mm榴弾砲FH70実弾射撃訓練中の弾着不明事案の概要並びにこれまでの捜索の状況及び今後の捜索について説明するものです。

事案の概要

2月3日（月）午後2時40分頃、あいば野演習場で第13旅団第8普通科連隊（鳥取県米子市、米子駐屯地所在）が実施していた総合戦闘射撃訓練において、中部方面特科連隊第3大隊（岡山県勝田郡、日本原駐屯地所在）が155mm榴弾砲FH70の実弾射撃訓練を実施中のところ、発射された1発の弾着が不明となったもの

当該不明弾の弾着位置は、あいば野演習場境界付近と見積られるが、演習場用地として防衛省が借り受けている保安用地（西峯地区）を含めた地域に着弾している可能性が否定できないため、現在捜索を実施中

弾着が不明となった原因は、射撃実施前の発射装薬の装填を1個使用すべきところ、これを2個装填しており、装薬量が増えたことにより推進力が増したためと推定され、現在、事故調査委員会において究明中



捜索等の状況

事案発生以降2月7日（金）までの間、延べ約1,680名により、弾着が予想される地域及び砲弾の射線沿いを焦点として広く地表面の捜索を実施し、地表面には弾が存在していないことを確認。弾が地中に埋没している可能性があることから、現在は、民間企業と連携した地中捜索の開始準備を進めつつ、必要な人員による捜索（巡察）を継続中

期 日		2/3 (月)	2/4 (火)	2/5 (水)	2/6 (木)	2/7 (金)	2/8 (土)	2/9 (日)	2/10(月)～
捜索 人員 (約)	日々	220名	320名	420名	370名	350名	捜索一時中断 (天候不良・積雪のため)		現場監視・現場保存のため 必要な人員をもって 捜索(巡察)を継続中
	累積	220名	540名	960名	1,330名	1,680名			

これまでの搜索状況と今後の搜索の流れ

趣 旨 事案発生以降のこれまでの搜索状況及び今後の搜索の流れについて説明するものです。

① 第1段階：**人力主体**による地表面搜索 **【部隊のみ】**

搜索人員及びヘリを投入し、弾着が予想される地域及び砲弾の射線沿いを焦点として
地表面を広く搜索

地表面に砲弾が存在しないことを確認、地下に埋没した可能性が高い。

現在は、搜索の第2段階（民間企業と連携した**地中搜索**）を早急に開始し得るよう準備を進めつつ、必要な人員による搜索（巡察）を継続中

第2段階へ移行

② 第2段階：**民間技術を活用**した地中搜索 **【部隊＋民間企業】**

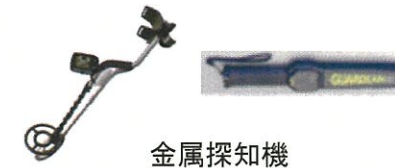
専用の器材を使用し、第1段階で搜索した地域の**地中探査**及びドローンによる搜索

これまでの現地搜索の景況と今後の搜索イメージ

これまでの現地搜索の景況（急峻な斜面及び積雪の中での搜索）



※ 搜索活動で使用した器材



今後の搜索イメージ

民間企業と協力し、専用の器材
を使用して地中を搜索



総 括

- これまでの現地搜索では、急峻かつ積雪のある地域での搜索を容易にするため、片手で使用する金属探知機、アイゼン等を使用しています。
- 第2段階の搜索では、部隊が民間企業と協力し、専用の器材を使用して、これまで搜索した地域の地中を搜索します。